

後期高齢者医療制度の改善に関する申し入れ書

千葉県広域連合議会議員 馬場征興様

2008年2月8日
日本共産党流山市議団
高野とも
乾紳一郎
小田桐仙
徳増記代子

いよいよ今年4月から、後期高齢者医療制度が始まろうとしています。しかし、この制度は、75歳以上の高齢者を今の医療保険制度から切り離して、医療費を抑制することを最大の目的にした制度であるため、高齢者にとって命を削るような大問題が含まれています。制度の内容が知られるにつれ、高齢者、医療関係者、自治体関係者などに不安が広がり、中央社会保障推進協議会の調査では、後期高齢者医療制度の中止や見直しを求める意見書・請願を採択した地方議会は、503議会に達しています。最近では、東京広域連合が独自の保険料減免制度を決定しました。

貴職におかれましては、市民の不安を最小限に抑えるため、以下の点につきまして、広域連合議会に意見を届けていただけますよう、要望いたします。

- 1、全県的に協調して財政支援を行い、保険料を引き下げること。
- 2、低所得者等への、独自の減免制度をつくること。
- 3、資格証明書の発行は行わないこと。
- 4、運営協議会や懇話会など、広く意見を聞くシステムをつくること。
- 5、広域連合として、住民説明会を開くこと。
- 6、経費節減のため、会議は公共施設などを活用すること。
- 7、国に対して、財政支援を求めること。

以上